

学習指導改善調査事業

「考える力を育てる問題」作成を通しての授業技量向上プロジェクト(案)

1 ねらい

- 考える力を育てる問題をつくることを通して、会員の授業技量の向上をねらう。
- 考える力を育てる問題を蓄積することで、調査問題の良質な素材を増やす。

2 プロジェクトの背景

- 全国学力テスト「B 問題」で求められる力や思考力・判断力などを、県小教研では、「考える力」ととらえて本事業を展開してきた。
- 考える力をつけるためには、授業の中で子どもが考える場面が必要であり、さらに、子どもが考えたいような良質な問題が必要である。
- 子どもに考えさせる問題を教師が創り出す力を高めることで、優れた授業が増え、子どもの考える力が向上すると考えた。

3 良い問題とは

良い問題とは次のような問題である。(例)

- ・子どもが考えたいような問題
- ・子どもの考える力が育つ問題
- ・活用力を試す問題
- ・基礎学力や既習内容を生かして解く問題

4 プロジェクトの内容

- 考える力を育てる問題を募集する。
- 初年度は、国語、算数、理科を扱う。(調査問題実施教科)
- 一般会員に広く募集するとともに、学習指導改善調査事業の協力者にも積極的に協力していただく。
- オリジナル問題でもよいし、元の問題を改良した問題でもよい。その際には、問題の出典を明記する。(書名、執筆者、種類や年度等)
- 問題は事務局に送付して、事務局で集約をする。
- 学習指導改善調査の本部会(会長、副会長、理事、幹事長、幹事)で応募された問題を審査する。(多数の場合には、研究推進委員にも協力いただく。)
- 優秀な問題には、賞状や賞品を授与する。
- 入賞した問題は、「すこらe」等に掲載して、多くの会員に知らせる。
- 優秀な問題は、次年度以降の調査問題の素材として蓄積していく。(必ず使用するわけではない。)

5 募集方法

- 会報、ホームページ、各校へのメールなどで知らせる。
- 郵送、メール等で事務局に送付していただく。
- 校内研修での取組なども期待したい。
- 協力者は、年間2問作成して、事務局に提出する。

※ 協力者とは・・・学習指導改善調査事業で、郡市事務局から数人ずつ推薦された教員。調査問題の結果を踏まえて、授業改善に取り組み、その成果をHPなどに公開する。協力者の中から、「すこらe」の執筆をお願いしたり、郡市報告会で成果を発表したりすることがある。

6 予算措置

- 表彰のための経費……1万円(4.学習指導改善調査費(3)調査等活用事業費)
- ※ 「すこらe」, 会報, メール配信による実際上の経費はなし。

7 著作権の使用に関して

- テストや書籍などをそのまま使用することは禁止する。(著作権を守る。)
- 元になる問題を改良してより良くすることは認めるが, 出典を必ず掲載する。
(多くの人の智恵により改良されて, 良い問題にする過程も大事である。)
- 改良の幅が小さいときには, 審査の対象外になることもある。
- 学年や学校単位など, 共同で作成することも認める。

8 今後の予定

4月11日	理事会での提案	
5月11日	評議員会での提案, 呼び掛け	
6月	広告, 見本の問題等の作成(事務局) 宣伝, 募集を開始する。(会報, HP, メール)	
12月	募集締切 審査 → 優秀問題決定	
1月	「すこらe」に掲載 HPで紹介	
2月	表彰	・問題校正会議の前に 表彰をする。(要検討)